

6月16日（月）

神のぶどう畠

聖書朗読 マルコ 12:1～12

自分のものを自分の思うようにしてはいけないという法がありますか。それとも、私が
気前がいいので、あなたの目にはねたましく思われるのですか。』このように、あの
者が先になり、先の者があとになるものです。 マタイ 20:15～16

今日の力

2014年6月16日～6月22日

翻訳 山田エミ

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3つの福音書には、イエス様が祭司長、祭司、長老たちに語られたこのたとえ話が、
書かれています。その指導者たちは、彼らに対して、その話をされているということに気がつきながら、イエス様を逮捕しようとたくさんでいました。しかし、イエス様を愛する
人たちの怒りを買うことを恐れていたのです。

このたとえ話の登場人物は、ぶどう畠の所有者、彼の息子を含めた労働者、その所有者
の使いたちを殺した賃借人です。その賃借人たちは、そのぶどう畠とその収穫物を自分たちのものにすることを期待していましたが、それが実現しないということは明らかです。

肝心なことは、そのぶどう畠がその所有者にとって、非常に大切なものです、いつも大
切に扱われるだろうということです。その所有者は、彼の使いを虐待する人々に対して、
寛容ではないでしょう。さもなければ、彼らがそのぶどう畠の収穫物を占有してしまうで
しょう。ぶどう畠に関連したたとえ話が、マタイの福音書20章1から16節に記されて
います。一日中雇われた労働者たちが、いつ働き始めたかに関わらず、一日の終わりには、
同じ賃金が支払われるという話です。

私は、私を自分が想像する以上 の方法で、養ってくださるぶどう畠の所有者を信じて
います。

讃美歌 525

祈り 天のお父様。あなたのぶどう畠に私を招いてくださってありがとうございます。
どうか、私の人生であなたの存在に私が気がつくことができますように助けて
ください。そして、いつでもあなたに従うことが出来ますように。
あなたの御名によって。アーメン。

ノルマ・プリヴィット
カリフォルニア州 サンザンドオーカス

6月17日(火)

イエスの約束

聖書朗読 マルコ 13:1~8

イエスが、宮から出て行かれるとき、弟子のひとりがイエスに言った。「先生。これはまあ、何とみごとな石でしょう。何とすばらしい建物でしょう。」 マルコ 13:1

イエス様の弟子たちにとって、主のメッセージはどんなに難しいことだったでしょう。彼らがエルサレムの寺院の素晴らしい感動して、立ち尽くしていた時、イエス様は、彼らにその寺院はいつか破壊されるだろうとおっしゃいました。イエス様の言葉は、弟子たちを怖がらせたことでしょう。実際、そのお言葉は今日の私たちをも恐れさせます。

実際、今日、とても多くのものが私たちを恐怖に陥れます。私たちは本当に信じないとしても、運命を予言する者たちがいることを知っています。彼らは、戦争が多くの人々の命を消し去るだろうと言います。安全を求めるように教えます。政治、お金、銃、そして孤立などのこの世の方法での安全を追い求めるように私たちに言います。

イエス様は厳しいイメージを描きながら「恐れてはいけない」とおっしゃいます。その後、弟子たちに、『わたしがこれらのことあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢であります。わたしはすでに世に勝ったのです。』(ヨハネ 16:33)とおっしゃいました。

私たちは、恐れる必要はありません。神様に感謝しましょう。私たちは、誤った政治家たち、冷酷な専制君主、自殺行為同然のテロリストたちが、私たちの堅い土台を揺らがすことではないということを知っています。なぜなら、私たちの国籍は、この世に属するのではないかからです。私たちの忠誠はこの世にすでに打ち勝ったイエス様にのみに属するのです。そして、その城壁が私たちに崩れ落ちてきたとき、私たちは心に平安を持つことが出来ます。

讃美歌 298

祈り 天のお父様。この世では、戦争、反乱、そして暴力がはびこり、私たちを恐怖に陥れます。神様、どうか私たちが恐れず、あなたのなぐさめと平安に心を休めることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

タミー・ディットモア

カリフォルニア州 ニューバリーパーク

6月18日(水)

考えてみたことがありますか？

聖書朗読 ルカ 4:1~13

試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。 ヤコブ 1:12

イエス様の弟子たちが、自分の人生に満足するように生きるようにと言われたのには、理由があります。一度不満足感を感じてしまうと、私たちの人生の全てが、なし崩しになってしまいます。アダムとイブは、その真実を知っていました。私たちは、悪魔が考えることもしなかった可能性をうむイメージを彼らのために描きました。「神の知恵を得ることはどんなことか考えたことはあるか？」、これが最悪の質問でした。

その質問に答えるためのただ一つの方法は、その木から目を逸らすことだけでした。光の中にきらめき、その感覚をじらすその果実は、アダムとイブの高慢さに働きかけ、とても魅力的でした。それは、魅惑の三連勝単式でした。

悪魔は荒野で、イエス様を同じようにだまそうとしました。しかし、この時は失敗に終わったのです。イエス様は、神様が願っておられる方法に従うことによって、その誘惑を撥ね退けました。主は、三度「それは書かれています」とおっしゃいました。神様に寄り添い、神様のみを信じること、これが、私たちが誘惑に陥った時のたった一つの強力な対処法です。

自分で満足することは、悪魔の誘惑への扉を閉ざします。不満足感が、神のみが満足させることが出来るという感覚を鈍らせるのです。

讃美歌 381

祈り お父様。私たちの周りには、私たちを魅了するものがたくさんあります。間違った方向に導くもの、喜び、満足感、そして幸福感をもたらすかのようなもの、しかし、実際には悪魔のわなであるもの。どうか、私たちが悪魔の手から逃れが出来るように導いてください。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ブルース・W・ルージュ

カリフォルニア州 メースド

6月19日(木)

私たちを奮い立たせるイエス

聖書朗読 ルカ 6:46~49

その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかり建てられていたから、びくともしませんでした。

ルカ 6:48

誰一人それを目撃しませんでした。2013年9月、私の故郷コロラド州では、大規模な洪水が1500戸以上の家を破壊し、それ以上の被害をもたらしました。この破壊的な大雨が起こる前の数か月間は日照りが続きました。一週間に満たないうちに、私たちの州の多くの市が例年以上の多量の降雨を受けるということを、誰一人、天気予報さえも予期しませんでした。大雨がやってきたとき、何も準備していなかった世帯は所有物を失い、そして、多く人がおぼれてしまいました。その避けられない嵐がやってきたとき、嵐を想定してあらかじめ備えていた家は倒れることなく、備えていなかった無防備な家は崩れたのです。

イエスの教えの上に私たちの人生を土台を据える時、私たちは人生の困難に耐えうることが出来、御靈が与えられるのです。将来のために、強力な土台を据えましょう。

讃美歌 267

祈り 神様。どうかイエス・キリストの教えに耳を傾け、そして、それらを実行する者にしてください。どうか私の人生が、人生のどんな状況においても、私を強く立たせてくれる真実の土台の上に立つことが出来ますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ

6月20日(金)

顔が真っ赤になる

聖書朗読 ルカ 18:1~8

イエスは彼に言わされた。「なぜ、わたしを『尊い』と言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかにはだれもありません。 ルカ 18:19

毎朝、私の妻がウォーキングで近所に出かける時、いつも彼女はおおくのりすを見かけます。りすはかわいい動物です。しかし、彼らは、私たちの庭におかれた家具のクッションをかじるので、私たちにとっては、りすはいやな動物にもなりえます。

彼女はまた、ショウジョウコウカンチョウが鳴く声を耳にしますが、ほとんどの場合、彼らを目にすることが出来ません。それで、彼女はいつかその鳥を目にしたいと願いながら、代わりに毎日りすに出くわすのです。そして、一羽のショウジョウコウカンチョウが木々の上を羽ばたいているのを目にした朝は、彼女はとても幸せになります。

これは人生の一つのたとえになるかもしれません。私たちは、ショウジョウコウカンチョウを目にする事を願います。しかし、りすが私たちの前に現れます。私たちは祈って、祈って、祈り続けますが、その答えがすぐにやってくるということはなさそうです。私たちは、願ってもないようなものを与えられることがあります。私たちは、神様が聞いていてくださるということを知っています。しかし、その答えが与えられる代わりに、私たちには困難をが与えられることもあります。そして、ある日、神様の応答がやってきます。私たちはショウジョウコウカンチョウを見る機会を得ます！私たちはその神様の応答を喜びます。しかし、私たちはそのりすの存在にも関わらず、神様がいつも私たちと共におられることを知っています。

そして、祈りと共に私たちは望んでいます。神様は私たちの時間軸に生きるのではなく、神様の時間軸に生きておられます。それは、信仰が試され、私たちが待ち望むことを期待されている時間軸です。ある日、赤いひらめきが訪れます。それは、喜びの時です。しかし、私たちはりすの存在の時のよう、他の時を覚えます。ショウジョウコウカンチョウを目にしていなくても、私たちは神様がいつも生きておられるということを知っています。

讃美歌 324

祈り 神様。どうか私たちの信仰が増しますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

トニー・アッシュ
テキサス州 アビリン

6月21日(土)

身動きの取れない状態

聖書朗読 ルカ 10:16~24

人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。
エペソ 3:19

挑戦の箱！ 私たちは引越しのために、引越し用の箱を購入しました。これなら、引越しのトラックに積み込む際、より容易になるからです。しかし、全てのものが、これらのサイズの箱に収まることはできません。私たちが引越しの準備をしている際に、明らかに全部が収まりきれないものがありました。それから私たちは、それに合う箱を探し始めました。

信仰者として、私たちは、日々、私たちの信仰に見合うサイズの箱や中身に出くわします。よく、私たちは、行動、反応、会話、友情、感情、自尊心によって、その信仰の箱の中身を読んだり見たりします。私たちは、基本の大きさの信仰の箱のサイズに満足していますか？ 私たちはその中身に挑戦していますか？ もし、その中身が私たちに見合わなかつた時、それを受け入れることを拒否しますか？ もしくは価値あるものを加えたりしますか？

イエス様はありのままの私たちを愛しておられます。しかし、イエス様は私たちが成長することを望んでいらっしゃいます。日々、私たちの箱の中身を吟味してみませんか？ キリストにつながらない中身を捨てようではありませんか？ そして、私たちの信仰を成長させる資質を加えてみませんか？

讃美歌 第二編 37

祈り 偉大なお父様。私は、あなたの可能性に、限界を感じてしまうことがあります。どうかその罪をお赦しください。どうかあなたの意思が私たちの中でなされますように、どうか私たちを成長させてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ラリー・ケイン
テキサス州 ハイランドヴィレッジ

6月22日(日)

私の隣人とは誰か？

聖書朗読 ルカ 10:25~37

『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』

マタイ 22:39

「あなたの隣人を愛せよ」と、イエス様がおっしゃった時、主のお言葉は、私たちが良いことのために、「どんな人をも愛するように」ということを意味しました。職場の人々、野球の試合の場で出会う人々、車を運転する道で出会う人々、自分や子どもたちが通う学校で出会う人々、そして、助けを必要とする全く知らない人々さえも・・・

時々、私たちは、「隣人」を私たちが住む場所に住む人に限定しないようにと願うばかりに、実際に近所に暮らす人たちのことを忘れてしまいます。確かに、私たちは彼らのことを忘れてしまってはなりません。もし教会の全ての教員が、彼らの近所に暮らす人々の最低でも5人のことを知っていたら、教会はどうなるでしょう？ もし、夕方の散歩の時に、彼らを訪問したらどうでしょう？ 彼らが病気になった時、誰かを亡くしてしまった時、彼らを助けてみてはどうでしょう？ 野球の試合に一緒に出かけてみたら？ お茶や食事に誘ってみたらどうでしょう？ 彼らに信仰者としての光を照らし続けてみたらどうでしょう？

近所に暮らす人々との関係を持つことで、私たちは聖書研究の集まりや、賛美集会、もしくは夏の子どもたちへの聖書キャンプに招くことが出来るかもしれません。何か始めてみませんか？ 神様は素晴らしいことをもたらすお方です。

讃美歌 173

祈り 天のお父様。どうか、あなたを心から愛することが出来ますように。そして、私の隣人をも愛することが出来ますように。どうか彼らのために仕え、彼らがイエス様を知ることが出来ますように助けてください。
主の御名によって。アーメン。

スタッフオード・ノース
オクラホマ州 エドモンド